

相手のことを思う気持ち

園長 篠澤 恵理

先日地域の方が、ふくろ幼稚園の子どもたちのために、新聞を数枚届けてくださいました。その新聞には、上野動物園にいるパンダの等身大写真が掲載されていたので、新聞をつなげてみると、その大きさを実感することができました。地域の方が、この新聞を幼稚園の子どもたちにも見せようと思って届けてくださった優しさに、とても感激しました。

早速、このパンダの横に竹のメモリを付け、子どもたちの成長を背くらべできるように掲示しました。改めて、地域の方々に大切に見守っていただいている幼稚園であることを、子どもたちも感じられるように願っています。

さて、5月末で臨時休業が終わり、いよいよ今月から幼稚園での生活が始まります。緊急事態宣言が解除されましたが、現在の状況においては「新しい生活様式」を踏まえながら、子どもたちが安心して過ごせるように、遊び方や園生活の過ごし方に配慮していく必要があります。これまで以上に、園生活の中で、相手の表情に目を向けたり、気持ちの橋渡しをしたりして、相手のことを思いやる気持ちを育てていけるような機会をもてるように工夫したいと考えています。まずは、全教員が「一人一人の子どもたちにとって」を第一に考えて関わるのが、子どもたちにも相手のこと思う気持ちをもつ手本となり伝わっていくと考えます。子どもたちが何気なく行う小さな親切や、相手のことを気遣う言葉などを丁寧に認め、思いやりの気持ちを育てていけるよう努めてまいります。今後ともご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

《今月のめあて》

4 歳 児 ・自分の好きな遊びを見付けたり、同じ場所にいる友達と一緒に遊んだり
することを楽しむ。

こりす組 ・学級の友達やみんなでする活動に喜んで参加する。

5 歳 児 ・友達と一緒に遊び方を考えたり、遊びに必要なものを工夫して作ったり
して遊びを進める楽しさを味わう。

もり組 ・友達との関わりの中で、互いに自分の思いを表したり、自分の力を出し
たりしながら、学級の仲間と気持ちをつなげていく。

今月の歌

☆ しゃぼんだま ☆

1 しゃぼんだま とんだ

やねまでとんだ やねまでとんで

こわれてきえた

かぜ、かぜ ふくな しゃぼんだまとぼそ

2 しゃぼんだま きえた

とぼずにきえた うまれてすぐに

こわれてきえた

かぜ、かぜ ふくな しゃぼんだまとぼそ